



介護サービス相談員は、介護保険サービス事業所を訪問し、利用者からサービスに関する要望・不満・相談をお聞きし、事業所へと伝えることでサービスの向上へとつなげる役割をしています。現在、20名の相談員が市内約130か所の事業所を訪問しています。どうぞお気軽にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組み

感染症対策委員会を実施

Q. 話し合う内容は？

新型コロナウイルスの最新情報や対策方法を共有。また、家族面会の方法について検討。そのほか、感染予防グッズの使い方、食事・入浴介助の際の留意点などが適切に出来ているかを確認している。

Q. 委員会を実施することでどのような効果があった？

施設全体で共通理解をもって、感染症対策に取り組むことが出来るようになった。また、現場の職員が抱える悩みや不安、疑問を施設全体で共有し、ともに解決策を考える体制を構築できた。加えて、職員一人ひとりが感染症を身近なものとして捉え、自身の行動や対策方法を考え直す良い機会になった。

新型コロナウイルス感染症への対応を強化するため、月に一度委員会を開催し、施設に在籍する専門職及び現場の職員で話し合いを行っている。

Q. どのようにして委員会が立ち上がった？
元々は、インフルエンザなどの感染症が流行した際に、施設職員が集まって対応を検討する形で委員会実施していた。しかし、新型コロナウイルスの大流行により、施設内でより密な情報共有が必要になったため、今の形で1か月に一度、委員会を実施することになった。



事業所の風景



＜面会方法の工夫＞
窓にアクリル板を設置。
飛沫防止対策を徹底！
アクリル板の一部には穴が
空いており、お互いの声が
届くよう、工夫されています！

＜事業所内の感染予防＞
可愛いイラストを用いてマスク
着用の呼びかけ！



令和2年度 第1回サービス向上連絡会 ～認知症の人への対応について～

開催日時：令和3年1月15日（金）13時30分～15時30分
講師：有限会社コーブンシャ 番 香月 氏



認知症の方と接する際に心掛けることなどを講師の体験談を交え、
わかりやすくご講義いただきました。

ポイント①

「表情は常に笑顔を維持し、ゆっくり話しかける」

言葉だけでなく、目配りや態度も
コミュニケーションの一環！！

ポイント③

「何気ない話題から切り出し、話を進める」

天気や季節、服装など相手が警戒しない
ような話題をいくつか用意しておく。
相手の表情や雰囲気には常に配慮を！

ポイント②

「前方45度くらいから近づき、横から話を聞く」

正面や背後からの声掛けは相手に恐怖や圧力を
与える。横から傾聴することで緊張せずに話しやすい
雰囲気を作ることができる！



まとめ

新型コロナウイルス拡大の影響もあり、講師の方には Zoom で参加していただきました。初めての実施形態ではありましたが、参加者の方からも好評をいただきました。

アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などそれぞれの特徴やどうい声掛けを行うと効果的なのかを詳しく教えていただきました。また、会議後のアンケートでも「今後の活動に役立てたい」という意見を多数いただきました。

令和3年度 第1回サービス向上連絡会 ～コロナ禍におけるレクリエーション～

開催日時：令和4年1月21日（金）13時30分～15時30分
講師：三重県レクリエーション協会 津幡 佳代子 氏



コロナ禍でも実践可能なレクリエーションを実演を交え、わかりやすくご講義いただきました。その一部を以下にご紹介します。



①どこへ行こうか日本列島

体の一部に地名を割り当て、「どこへ行こうか〇〇(地名)」のリズムに合わせて、該当する体の部位を触ります。

●楽しみポイント

→地名を言われて、とっさに判断する緊張感とリズムを楽しむ。
→地名の部分がその地名を連想させる特産品や観光地に変われば、難易度アップ！



②リズム肩たたき

歌を歌いながらリズムに合わせて肩を叩きます。全員の動きがそろったら、8回、4回、2回、1回と肩を叩く回数を減らしていきます。

●楽しみポイント

→みんなで歌を歌い、同じ動作を行うゲームのため、一体感が生まれます。利用者同士で仲が深まること間違いなし！！

まとめ

本研修は、講師の方・参加者ともに全員 Zoom で出席いただき、完全 Zoom での会議開催となりました。初の試みであり、会議の進行や分かりやすさなど不安な面が多々ありましたが、講師の掛け声に合わせて、参加者の皆様にも身振り手振りをしていただくことで、会場での実施と大差なく、講義を受けていただくことが出来ました。会議後のアンケートでもそのようなお声を多数いただき、今後の会議の開催方法を検討するにあたり、大きなヒントを得ることが出来た回となりました。

介護サービス相談員 新任紹介



生川 郁子

コロナ禍での着任となり、事業所への訪問活動が限られていますが、先輩相談員さんのお話を聞きながら、利用者の皆様にお会いできる日を楽しみにしております。



林 市子

コロナ禍で、利用者さんとのお話や相談が困難な状況ですが、皆様からのお悩みやご相談にしっかりと耳を傾け、初心を忘れずにこれからの訪問活動に取り組みたいと思います。



山崎 好子

事業所でお過ごしの皆様からお困りごとを聞き取り、その解決に向けて何かお手伝いできればと思い、相談員になりました。人と話すことが好きなので、皆様から色々なお話しをお聞きできることを楽しみにしております。



西端 孝子

利用者の皆様からの不安や疑問に耳を傾け、解決につながるよう行政との情報の橋渡しに努めたいと思います。

✿ 編集後記 ✿

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、介護事業所の皆様や地域活動にご尽力いただいている皆様にとって、ご心配・ご苦勞が絶えない時期であったかと存じます。

今回の「介護サービス相談員だより」では、介護事業所の新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組みや過去2年間の介護保険サービス向上連絡会を編集致しました。

新型コロナウイルス感染症が1日も早く収束し、皆様にお会いできることを介護サービス相談員一同願っております。

✿ 広報委員 ✿

小川まゆみ・生川郁子・荻須千津子・矢田宏子・吉田よし子

